

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 29年 7月 29日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京都市南区上鳥羽角田町68番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 佐川急便株式会社 代表取締役 荒木 秀夫
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	東京本社（東京都江東区新砂2丁目2番8号）	
導入年月日	2001年 8月 31日	
認証番号	NQE-0074A	
基本方針	社会と自然との共生を図りつつ、地球規模の環境問題に取り組み、地域社会の発展に貢献します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①電力使用量の削減 直近3ヶ年実績 年平均1%削減 ②コピー用紙使用量の削減 直近3ヶ年実勢 年平均1%削減 ③資源ごみ再利用の促進 ※具体的な数値目標はなく、従業員の分別意識を高揚する事を目的とする。	
目標を達成するための取組の内容	①電力使用量の削減 ・室内のこまめな確認（夏室温28℃以上、冬20℃以下）による過度なエネルギー消費の抑制 ・各種機器の省電力（終了時の電源OFF） ②コピー用紙使用量の削減 ・会議資料のスリム化 ・不用意な印刷の防止 ・両面印刷/2アップ/4アップ印刷の推進 ③資源ごみ再利用の促進 ・コピー用紙/その他紙類/可燃ごみ/不燃ごみ/空き缶/びん/ペットボトルの分別の徹底	
目標を達成するための取組の進捗状況	①電力使用量の削減 ・グループ全体の取り組みでもある「環境行動」において、節電をテーマとした活動を実施中。 ②コピー用紙使用量の削減 ・複合機にID認証機能を付加し、印刷枚数の個人管理と削減意識の向上に努めている。 ・両面印刷等により紙の使用量削減を継続実施中。 ③資源ごみ再利用の促進 ・分別BOXを設置し、従業員によるごみ分別を徹底している。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画どおりに取り組むことが出来ている。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、必要に応じて確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しの必要性については1年に1度（年度末）に実施している。 従来より、「紙・ゴミ・電気」への活動を推進し、一定の成果が得られていることから、平成28年度も同様に取り組みを行った。 平成29年度も同一の環境マネジメントシステムにより運用を行う。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。